

# 水害・土砂災害から身を守るために

## 1 住んでいる地域の危険箇所を知る

各市町村が作成しているハザードマップで、避難場所や避難経路、地域の危険箇所などを日頃から確認しておきましょう。  
(市町村の窓口及びホームページで確認できます)



## 2 気象情報に注意する

大雨が降りだしたり、台風が接近してきたら、テレビやラジオの他、気象庁のホームページなどで警報や**土砂災害警戒情報**が発表されていないか確認しましょう。



### 土砂災害警戒情報とは

土砂災害発生の危険度が高まったときに発表されるもので、命に危険が及ぶ土砂災害が、いつ発生してもおかしくない状況であることを伝える情報です。

## 3 身を守る

警戒情報や自治体からの避難情報が発表された場合は、早めに安全な場所へ避難しましょう。

今年の台風では、**車を使用していた方が多く犠牲**になっています。

避難経路に危険があるような場合には、

- ・ 指定された避難場所へ向かうことにこだわらない
- ・ 川や崖から少しでも離れた頑丈な建物の上層階に避難するなど、その時点で最も安全だと思える行動をとることが大切です。

また、**増水した川や用水路は非常に危険**なので、**絶対近づかない**ようにしましょう。

